

令和5年11月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

令和5年11月27日（月）午後1時30分～午後3時10分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	前田 毅
教育委員	安田 優二
	多田 好江
	田路 一成
	上田 美登里

事務局

教育総務課長	清水 幸信
こども教育課長	丹後谷 智
生涯学習課長	田中 利彦
教育総務課副課長	山田 貴広
こども教育課副課長	井上 修三
こども教育課副課長	今西 勝彦
教育総務課主幹	宮脇 秋子

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に田路委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

10月25日から11月26日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事などについて資料により報告した。

6 議事

(1) 議案第36号 香美町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例制定に関する意見について

議案第37号 香美町立幼稚園条例の一部を改正する条例制定に関する意見について

議案第38号 香美町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例制定に関する意見について

(教育総務課長)

議案第36号から議案第38号までの条例改正の趣旨及び内容について説明

→香美町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例では、令和6年3月末に奥佐津小学校・佐津小学校を廃止することに伴い、小学校の名称及び位置の表から奥佐津小学校と佐津小学校を削除する。

→香美町立幼稚園条例の一部を改正する条例では、令和6年3月末に奥佐津幼稚園・佐津幼稚園を廃止することに伴い、幼稚園の名称及び位置の表から奥佐津幼稚園と佐津幼稚園を削除する。

→令和6年3月末に閉園となる佐津幼稚園は、閉園後も放課後児童クラブ専用施設として引き続き使用するため、香美町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例では、放課後児童クラブスマイルさづの位置「香美町立佐津幼稚園内」の表記を削除する。

→いずれも施行日は令和6年4月1日とし、12月議会に提案する。

<議案第36号から議案第38号 質疑なし>

(教育長)

議案第36号を会議に諮り、全員異議なく承認

議案第37号を会議に諮り、全員異議なく承認

議案第38号を会議に諮り、全員異議なく承認

(2) 議案第39号 香美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定に関する意見について

(こども教育課長)

条例改正の趣旨及び内容について説明

→国の基準が改正されたことに伴い、町の関係条例の一部を改正する。

→特定教育・保育の取扱い方針について規定している第15条において、第1項第2号中の「同条第11項」を「同条第10項」に改める。条項のずれによる改正であり、規定内容の変更はない。

→特別利用教育の基準について、認定こども園又は幼稚園の利用者数が、年齢区分ごとに利用定員数を超える場合について規定している第6条第2項を、第36条第3項において特別利用教育の規定に読み替える規定としているが、第6条第2項の「認定こども園又は幼稚園に限る」という箇所を「特別利用教育を提供する施設に限る」と読み替える必要があることから、この読み替え規定を追加する。

→48条の「利用定員の定数」を「利用定員」に文言を改める。

→施行日は公布日とし、12月議会に提案する。

<議案第39号 質疑なし>

(教育長)

議案第39号を会議に諮り、全員異議なく承認

7 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○学校再編に関する説明会について

10月27日(金)に役場本庁で開催した4回目(最終回)の説明会の報告

・説明内容

①再編検討委員会の体制や方針決定について

②小学校の統合方式、校舎、校名、校歌、校章、幼稚園の統合方式、通学方法、放課後児童クラブの配置、課題検討委員会での検討結果、廃校後の利活用の方向性など

③制服・体操服の購入補助について

・参加者：保護者5人、一般7人、教職員5人、計17人

・質疑等：「3年後には6校が1校になり、相当数の先生が余ってくるので、先生方は処遇について不安を持っているのではないか。」

→統合によって40人程度の余剰が生まれますが、定年退職や居住市町、あるいは出身地の学校への転出希望者もあります。県教委や他市町と連携を取りながら配置計画をし、勤務先がなくなるようなことはないようにしています。

「1次再編後、5校連合で行ってきた行事はどうなるのか。中学生の通学方法の変更はあるのか。」

→2次再編までは、柴山・長井・余部の3校連合で、修学旅行、自然学校、チャレンジプランなどを行っていきます。中学生の通学方法ですが、例えば、余部地区で小学生がバスで通うなら中学生も乗せてほしいというような要望があれば、同じように汽車通学をしている鑑や柴山、佐津をどうするのかといったような課題も発生して調整にかなり時間がかかると思われ、小学校の2次再編が予定どおりいなくなる可能性がありますので、中学生の通学方法は、この度の再編とは切り離して考えています。それについては、中学校のコミュニティ・スクールなどで検討していただくものだと考えています。

町長：本町の少子化は著しく、今年の出生数は町全体で40人ほどになりそうな状況で、6年後ぐらいにその子たちが入学するときには香住小学校も1クラスになってしまいます。これまで小規模校のデメリットを解消するためにチャレンジプランなどに取り組んできましたが、続けていくことが困難になるのは目に見えているので、学校再編に舵を切らせてもらいました。しかし、多くの子がスクールバスで通うようになれば、安全に通学するためにしっかりとした運転員を確保できるかどうか、また、多くの廃校が生まれるわけで、全てを地域の方が望むような利活用をしていくことは難しいと考えており、いくつかは解体撤去させていただかなくてはならなくなることをご理解いただきたい。

○第6回香住区小学校等再編検討委員会について

- ・11月24日（金）19時30分より開催し、次の3点を協議した。
 - ①学校再編に関する説明会について説明、報告した。
 - ②閉校に向けた取組について、閉校記念事業費の補助金交付要綱の内容を説明した。
 - ③香住区小学校等再編検討委員会設置要綱の一部改正について説明し、検討委員会として了承していただいた。
 - 令和6年4月に奥佐津小学校と佐津小学校が閉校になり校長が2人減ることから、再編検討委員会設置要綱にある、香住区に所在する小学校・幼稚園の校長7人という規定を5人に改め、全体の委員の人数を21人から19人に改正する予定である。香住区に所在する小学校のPTAを代表する者は6人のままとさせていただき、統合後の香住小学校のPTAから、香住・奥佐津・佐津それぞれの代表として3人出いただく形にさせていただきたい。
- ・次回の検討委員会は、2次再編後の通学方法について、企画課や全但バスと調整し、案ができ次第開催する予定である。
- ・教職員による課題検討委員会では、2次再編の柴山・長井・余部と香住小学校との事前交流を来年度から始めることとし、来年度は2回予定されていることを報告した。

【質疑内容】

（多田委員）

この前の説明会に私も行かせていただきましたが、香住小学校の保護者が2人くらいしかみえていませんでした。香住小学校にいらっしゃる保護者にも、子どもたちを受け入れて一緒にやっていくという意識で受け止めていただきたいなと思いますので、啓発みたいなものがあるのではないかなと感じました。それから、奥佐津小・佐津小と香住小との交流会が計画されていたんですけど、コロナか何かで1回中止になり、貴重な回数の中の1回がなくなってしまっているので、残された1回が充実したものになったらいいなと思います。

（教育長）

「保護者が2人」というのは随分前から危惧しておりまして、これから啓発していかないといけない部分ではありますし、4月に向けて香住小学校が持っている大きな課題だろうと捉えています。2つ目の件に関しても、カリキュラム的に、インフルエンザの流行もあって、今から飛び入りで追加ということは非常に難しいです。その代わり通学のバスを使ったりして、できるだけ現実に近い状態にレベルアップして4回目を迎えようというのが、今のところの計画です。4回目を少しでも充実することしかないのだと思っています。

（田路委員）

奥佐津小・佐津小の少ない子どもたちが香住小に行つての事前交流、少人数の子どもが、大勢の中に入ったときに、どのような様子だったのか聞かせていただきたいです。また、事前交流の回数もですけども、実際どんなふうに進められているのか、様子を分かるところでお話しいただければと思います。

（教育長）

1回目は香住小の方の意識が高まっていないところが課題でしたが、3回目は香住小の子たちも上手に受け入れていて、授業も含めて、先生も含めて、十分協議をして進め、香住小学校のいい様子、人数が多くて活気ある様子を見てもらって、非常にさわやかに終了したと校長から聞いています。特に2学期以降、奥佐津・佐津の子たちは、教員が中心になって定期的なアンケートしたり、作文したりしながら、何が困っているのか、何がモヤモヤするんだということも含めて子どもたちの声を吸い上げています。再編説明会では、子どもをお持

ちの保護者の方も来ておられたので、やはり親が話の相手をしてやってほしいと、子どもが何に困っているんだらうと意識を持って気にかけてやってくださいということをお願いしました。そういう動きですが、基本的には楽しみにしているという子どもが90数%です。2つの小学校の校長には、3月になってからここがと言っても物事は変わらないから、子どものことも含めて、いろいろ気かけられるのは今のうちだから頼むよと言っています。

(安田委員)

説明会に参加させてもらったときに、香住小学校の保護者の方がおられたのでお話を聞いたら、その保護者の方は他の学校の方とのつながりもある方ですけど、その保護者の方が心配されておられるのは、今まで人数が少ない学校の中でいたので、子どもたちの様子を常に先生が気にかけてくれていたという環境から、大勢の中に行くと、本当に子どもの様子をちゃんと見てくれる・もらえるだろうかと不安の声があるということが出てまして、我々のところには、学校の先生がどういう体制で受け入れをしていくのかというような話は見えてこないんですけれども、うまいことそこに馴染めるかなというのは、かなり不安をもっておられる保護者の方もおられると聞いていたり、香住小学校の保護者の受け入れる体制が、ただ入ってくるという感覚なので、その辺の意識が変わればということ言われていました。例えば、2次再編に向けて、学校版教育環境会議とか、そういうものにお互いが招待し合って、その学校の状況を理解し合えたりとか、子どもたちだけではなくて、やはり保護者同士もそういう場を設けられたら、かなりいい機会になるのかなと思います。

(教育長)

PTAの関係については、先を見据えた動きを統一しているわけではないですが、気を利かせて、奥佐津・佐津にも配っていますという声も聞きますので、それは広げていけばいいことではないかと思っています。2人だった学年の子が、40人に入ってきたら戸惑うことは、100%想定だと思えますよね。そこにどう保護者もかんでいって慣れさせていくということが大事であって、大人がやはりどれだけ意識してやれるかということだと思います。奥佐津小と佐津小にずっと言ってきたのは、2人が40人になったときに、絶対に見てほしくても見れない世界ができるので、その力強さというのは奥佐津小・佐津小でつけていかないと、そういうところを意識した2年間であってほしいと。ただ、そのあたりを香住小学校ももうちょっと頑張らなあかんかなっていうところは、また校長も含めて話はしていきたいと思います。香住小学校も、1回目より3回目は先生たちの意識も変わって受け入れていますし、4回目に関してはもっと緊張感をもって動かすだろうと思います。ただ2人の子が40人のところに入ってきて、緊張感もなく馴染めるかという難しさは絶対にあるだろうし、地域の環境もあつたりするだろうし、それも含めて、親が仲良くしていかないとはいえないかと思っています。どこの学校の統廃合に関しても、少ないところの子どもが大きなところに行くと、環境が違ったら同じはずがないわけで、大人が想像できる範囲ではできるだけしていきたいとは思いますが、その2人の子の気持ちになって、不安に思うこと、できるだけケアができるように体制は取りたいと思います。

(教育総務課長)

今年、香住小は、奥佐津小・佐津小の保護者にも学校版教育環境会議やオープンスクールの案内をして、たくさん来てくれたようです。環境会議も香住小単独でしていた時と比べ、かつてないくらい大人数の人が集まってくれたようです。

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

○令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

香美町の調査結果の概要について説明

→実施日：令和5年4月18日（火）

→実施校数及び人数：小学校6年生 10校、129人
中学校3年生 3校、125人

→調査内容：教科に関する調査（小学校：国語・算数、中学校：国語・数学・英語）
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒の質問紙調査（一部）について、
タブレットを活用したオンライン方式で実施

→教科に関する調査の状況

- ・小学校2教科・・・全国、兵庫県と比較し下回る
- ・中学校数学・・・全国と比較し同程度、兵庫県と比較し下回る
- ・中学校国語、英語・・・全国・兵庫県と比較し同程度

→調査結果の概略

- ・小学校では、無回答率が10%を超えている「問い」が全国・兵庫県と比較し多い。また、記述式で解答することに課題がある。
- ・中学校では、無回答率が10%を超えている「問い」が全国・兵庫県と比較し少ない。

→児童生徒質問紙・学校質問紙に関する調査の状況

- ・ICT機器の活用状況について、学校はほぼ毎日、または週3日以上活用していると回答しているが、児童生徒は少なかったと回答しており、子どもたちの実感として、どう捉えられているかなど検証が必要である。

→回答状況の年度ごとの変化について

- ・「読書が好きですか」の問いに対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、昨年度より増加した。
- ・自己有用感について、経年比較全体で増加傾向にある。

→パソコン・タブレットのICT機器の活用などについて

- ・子どもたちは、ICT機器の有用性については非常に高く回答しているので、今後も積極的な活用が必要になってくる。

→英語に関する状況について

- ・英語に関する興味・関心、英語の授業における理解度など、肯定的に回答している割合が全国・県よりも上回っている。

→児童生徒質問紙と学力のクロス分析の状況

- ・中学校では、読書時間と国語の平均正答率に相関関係がみられる。
- ・小学校では、ほめる指導と算数の正答率に相関関係がみられる。

【質疑内容】

（田路委員）

小学校が「下回る」ばかりということについては、これはちょっといくら何でもというのがありまして、また、無回答率が多いということについて、それは時間不足で無回答になるのか、意味が読み取れなくて無回答になるのか、何も答えられないということは一体どういったことなのか、何か分かるところはあるでしょうか。

（こども教育課長）

特に国語については文字が多く、小学校6年生の問題で約6千字から7千字あります。それについて、全部読めているのかということや、全く手がつけられないということも実際

にあるのかと思います。算数についても、応用問題、文章題、表を見る問題や図形については課題があります。簡単な問題は手がつけられるが、ひねられたり、表のややこしいものが出たら手がつけられないということもあるかと思います。改善の一つとしてですが、令和2年度から先生方のスキルを高めるため国語科・算数科の学力向上事業を実施し、まずは先生方の授業改善に取り組んでいます。

(田路委員)

タブレットや映像を使っての学習に力が入ってきていると思いますが、無回答率や読み切れないとか手がつけられないような状態というのと、これをどうつなげて効果を上げていくのかということになるかと感じるのと、読み取りトレーニングとか、こういう結果をもう少し緩和するためのものを取り入れないといけないような感じもします。

(教育長)

無回答率の問題は、4年くらい前に一度出まして、読めていない、回答率が全国より低いとなって、その次の年は、やはり読むことが大事だということで小学校が一斉に動いて、そこからすぐに効果は出ました。教員みんながどれだけ意識して学校独自で向かうか、これが全てだと思っています。なかなか一人一人の先生に言う機会はないので、校園所長会の度に、必ず校長がそこを意識してしてくださいと校長に伝えています。計算力が低いと言われたら、2学期の朝学習は計算力をシリーズ化してみようかという動きをしやすい学校もあるよねって、しにくい学校もあるかもしれないけれど、環境をどんどん変えていこうとしないと、分析はパーフェクトにしていますけど、現状何も変わっていないじゃないかって、ここが課題ですよ。学校がよほど変えていかないと難しいところがある、だから、全国的に毎年同じ傾向が出てくるんです。ICTに関しては、もうICTが進んできていますので、どこどこで合わせていくかということが難しいと思ったりはするんですけど、ここ1~2年でその分析をするのは難しいと思っているし、文科省もそうしているような文言をよく見ますので、もうしばらく待っていただいたらICTの効果というのは出てくると思います。

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○令和6年香美町二十歳のつどいについて

日時：令和6年1月7日(日)午後1時30分~午後3時40分

会場：香住区中央公民館 文化ホール

対象者：香美町内の小・中・高等学校に在学したことがある人(158人)

【質疑内容】

(安田委員)

該当者に案内の手紙が送られるんですけど、グーグルフォームなどで申し込みしてもらえたら情報が送りやすいので、そういう手立てがあると思います。

(生涯学習課長)

QRから全部申し込みいただいて、それがデータで流れていくというのがあるんですけども、生涯学習課でそれを一部今年度から進めています、二十歳のつどいについてはしていません。今年度はお試しとして使っていますが、来年度は企画課での予算を通していただけかどうかによって使い方が変わってきますけれども、時代的にはそのようになっていくものだと思います。

○スポーツ事業について

①第19回香美町民スキー大会

日にち：令和6年1月28日（日）

場所：おじろスキー場

種目：アルペン（ジャイアントスラローム）、クロスカントリー（フリー）

対象者：町内在住者・在勤者、町内スキークラブ加入者

②オリピアンスキー講習会

日にち：令和6年1月27日（土）、28日（日）

場所：おじろスキー場

講師：石井智也氏

③第24回兵庫県雪合戦大会

日にち：令和6年2月3日（土）午前8時45分～

場所：小代中学校グラウンド

募集：一般の部（18チーム）、レディースの部（6チーム）、ジュニアの部（12チーム）

○文化事業について

①クリスマス音楽イベント

日時：令和5年12月9日（土）開演：午後2時

会場：香住区中央公民館 文化ホール

8 その他

○12月の定例会について

日時：12月25日（月） 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

○1月の定例会について

日時：1月25日（木） 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

令和5年11月27日

教育長

前田 毅

香美町教育委員会 署名委員

田路 一成

会議録作成者：教育総務課 主幹 宮脇 秋子